

【1】《放送による聞き取り問題》

これから放送による聞き取りの試験を行います。解答用紙を用意し、これから読む文章を聞いた上で質問に答えなさい。文章を聞いているとき、左のわく内にメモをとつてもかまいませんが、解答はすべて解答用紙に記入しなさい。解答はひらがなでもかまいません。質問は全部で五つあります。文章は二回、質問は一回読みます。

メモ

「2」 次の指示にしたがって答えなさい。

A 次の各文の——線部を漢字に直しなさい。(必要に応じて送りがなも書くこと。)

- ① 記録はヨウイにやぶれない。
- ② かぜでキカンを痛める。
- ③ 家庭ホウモンの日。
- ④ 本登りをころみる。
- ⑤ 発表会に友だちをまねく。

B 次の各文の——線部の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

- ① やるべき問題が山積する。
- ② 駅を経由して帰る。
- ③ 彼女は母親に従順だ。
- ④ 校内に意見ばこを設ける。
- ⑤ クラスで文集を編む。

「3」 次の指示にしたがって答えなさい。

A 次の——線部は文章中でどのような役割をしていますか。それぞれ後のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

- ① きのうの運動会は とても にぎやかに 終わった。
- ② 今日は 弟が 父を むかえに 行く。
- ③ 待ちに 待った 夏休みが もうすぐ 始まる。
- ④ ああ、きれいな 空 だな。

ア 主語 イ 述語 ウ 修飾 エ 接続 オ 独立

B 次の意味に合う慣用句を、それぞれ後のア～カの中から選び、記号で答えなさい。

- ① ひどくつかれること。
- ② 非常にいそがしいこと。
- ③ 損をすること。

ア 目が回る イ 舌を巻く ウ 顔から火が出る
エ 足が出る オ あごを出す カ 頭が上がらない

「4」 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

ニューヨークでバンドを組んだ筆者は、日本でデビューするためにアメリカ人のベーシストを迎えることとなった。そこで来日した彼に、歓迎の意を込めて寿司屋に連れていくことにした。次の文章はその時のものである。

ベーシストにとって、日本の本格的な寿司店に入るのは初めてのこと。カウンター席に座った彼は何を注文していいかわからず、ガラスの保冷ケースに入った寿司ネタをおかずと指さします。ボクはいちいち、それはカンパチというんだよ、それはハマチ、それはサバ、それはアジ、といった具合に魚の名前を言っていました。

彼はずいぶんと食べました。回転寿司ではないので大奮発です。でも、「おいしい」と日本語で連発してくれたので、こちらの気分も盛り上がりました。(A)、寿司店を出てしばらく歩いてから、ベーシストはいきなりこう言ったのです。

「なんで日本人は、魚にいちいち名前をつけるんだよ？」

①ボクは「え？」と聞き返しました。その時の彼の反応がこうです。

「フィッシュ・イズ・フィッシュ(魚は魚だろ)」

次回からは回転寿司でいいやと思いました。(B)彼は、寿司ダネの区別がついていなかったのです。魚は魚でしかなかったのです。

たしかに、アメリカ人は日本人ほど魚の種類を知りません。ニューヨークの寿司レストランでも、経営者が日本人ではない場合は、カンパチやハマチやツムブリを一緒くたにイエローテール、マグロやカツオもまとめてツナと言っている店がほとんどです。多くのアメリカ人にとっては、イエローテールという魚は存在しても、カンパチやハマチは存在しないのです。ましてやそのハマチが成長具合によってワラサやブリと名が変わる出世魚だなんて、説明したところで「？」という表情になるだけです。

②日本人は、生き物の名前を細かく知っているという点で、おそらく世界一の民族ではないでしょう。魚の名前もそうですし、虫の名前や花の名前もそうです。ちなみにこのベーシストは東部の名門大学の生物学を卒業していますが、カプトムシもクワガタムシもカミキリムシも全部まとめてビートルと言います。区別をつけないのです。

日本人の男性なら、クワガタの国産種のすべて、カミキリムシも五つ六つは名前を知っていることだと思います。でも、日本のように虫や魚を愛する伝統がない欧米では、虫に対して二、三の言葉しか浮かばない人が一般的です。『昆虫記』のジャン・アンリ・ファールがフランス本国では必ずしも有名人ではないように、虫に対する情熱を他国で探すのはなかなか難しいことなのです。

このベーシストの一件は、③言葉とはなにか？という問いかけに対して、ほとんど答えにも近いようなヒントを与えてくれているように思います。

人間は区別がつかないものに対しては、呼び名を持ち得ません。区別がついている事象に対してのみ、呼び名を持つのです。

④その考えを当てはめてみると、感情に対して三つの言葉しか持てない人は、三つの感

情しか区別がついていないと言えます。(注2) 嫌悪の感情が全部「むかつく」になってしま
うのであれば、その人にとっては一種類の怒りしか存在しないことになります。逆
に、揺れ動く心に対して百の描写ができるなら、その人はそれだけの心の姿の区別が
つ

言葉とはすなわち、区別がつくかどうか。差異に根ざした表現なのです。

(ドリアン助川『プチ革命 言葉の森を育てよう』より)

(注1)「事象」…事実と現象。ことがら。

(注2)「嫌悪」…強くきらうこと。

問1 (A)・(B)に入る語をそれぞれ次の中から選び、記号で答えなさい。

ア ところが イ また ウ たとえば エ つまり オ ところで

問2 線部①「ボクは『え?』と聞き返しました」のはなぜですか。空らん部にあ

てはまる語を、それぞれ指定の文字数で答えなさい。なお、1 は自分で考
えてひらがなで、2 は本文中からぬき出して漢字で答えなさい。

日本人にとって 1 (五字) と思っていた魚の名前を、アメリカ人は
2 (二字) しないでとらえていることに気づいたから。

問3 線部②「日本人は、生き物の名前を細かく知っている」とありますが、この

ことがよくわかる具体例を本文中の言葉を用いて二つ答えなさい。

問4 線部③「言葉とは何か?」の答えにあたる部分を本文中から十字以内でぬき
出さない。

問5 線部④「その考え」とはどのような考えですか。本文中の言葉を用いて答え
なさい。

問6 日本語の中で「雨」に関する呼び名を例にならって三つ答えなさい。(ひらがな
でもかまいません。)

《例》大雨・小雨

問7 文中には次の一文がぬけています。元にもどすとすればどこに入りますか。入
べき箇所の直後の五字をぬき出さない。(句読点も一字と数えます。)

最低でも、シロスジカミキリと「マダラカミキリ」の区別くらいはつくはずだ。

問8 本文の内容と最も合っているものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 言葉をたくさん知っている方が文章表現が豊かになる。
イ 日本人は欧米人に比べて言葉をたくさん知っている。
ウ ものを認識していく上でのちがいが言葉のちがいになる。
エ 欧米人は「生き物」を愛する伝統がないので言葉が少ない。

問9 あなたは「むかつく」という言葉からどのような印象を受けますか。具体例を
あげて五十以上、八十字以内で説明しなさい。(句読点も一字と数えます。)

〔5〕 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

中学一年生の姉・植野歌子が生徒会の書記に立候補することになり、「選挙対策本部」の同級生
が五人、家にやって来た。小学四年生の妹・チヅルは、いつものように優しく接してくれない歌
子に腹を立て、玄関にあった五人分の靴をあちこちにかくした後、小学校のグラウンドで時間を
つぶしていた。

だんだん日が落ちてきて、グラウンドも校舎もしんと静まり、人の気配というものがな
くなっていた。

動いていないと(A)ので、チヅルはもう一度ブランコにのり、勢いをつけてこ
いでいたが、そのうち、ふいにグラウンドのはしっこにある外灯に明りがついた。

外灯に明りがつくのは、六時すぎに違いなく、六時すぎといえば、清子が帰ってくる
時間で、これ以上、家に帰るのが遅れると叱られてしまうので、チヅルはしぶしぶ、また
自転車をこいで家に帰った。

もう、悔しい気分はすっかり消えて、歌子が怒っているのではないかと、そればかりが
気になっていた。

家に帰ってみると、電気がついておらず、まだ清子も帰っていないようで、それはホッ
としたが、歌子もいないようで、わけがわからなかった。

電気をつけて、ぼんやりと茶の間のソファにすわっていると、カタンと物音がして、
二階から歌子がおりに来た。歌子の目は真っ赤で、今まで泣いていたようだった。

てつきり叱られると思って身構えていたチヅルはびっくりして、上目づかいに歌子を睨
んでいると、

「チヅル、折田くんの靴、どこにやったのさ。折田くんのだけ見つからなくて、折田くん、
上靴はいて帰ったんだよ」

というなり、歌子は茶の間にすわりこんで、わっと泣きだしてしまった。

①チヅルはあつけにとられてしまったが、すぐに我にかえて、あわてて家をとびだし、
裏の畑のトマトの木の下につっこんであった男子の運動靴をひっぱりだした。

内心では、やっぱり、ここは見つからなかったかと X な気持ちも少しはあった

が、それよりも歌子が泣いているのが驚きで、とてもことに、ザマアミロとは思えなくなってしまう。歌子が泣いているのを見るのは、チヅルは初めてだったのだ。

「おねえちゃん、これ……」

まだすすり泣いている歌子に、②おずおずと靴をさしだすと、歌子は何度も手の甲で頬をこすってから、出窓においてある電話機の受話器をとった。

③メモもなにも見ずに、歌子はダイヤルをまわして、どこかに電話をかけた。

「折田くん、うん、あたし、植野。靴みつかったから。明日、学校にもつてくから。うん。

他の靴、あるの？ うん。ごめんね」

歌子は何度も何度もごめんねといい、最後には涙声になって、電話のむこうの折田くんになだめられているようだった。

チヅルはふと、④月に一度くらい電話をかけてきていたのは、この折田くんではないかという気がしてきた。

今までは、友だちが電話をかけてくるというゼータクにびっくりして、まさか相手が男子だとは想像もしていなくて、当然、クラスの女子だろうと思ひこんでいたのだけれど、この時ふいに、きつと、電話は折田くんに違いないと思えてきたのだった。

「おねえちゃん、おかあさんにいってもいいよ」

歌子が電話をきってから、謝るつもりでそういうと、

「⑤いいよ、もう」

歌子は怒っているふうでもなく、ただ⑥気が抜けたようにいつて、のっそりと二階に上がっていった。たまた、折田くんの靴がみつかったことにホッとして、ほかのことはなにも考えられないみだだった。

今日は、歌子がお米をとぐ当番だったのだが、台所の流し場を見ると、お米がといでなかった。

チヅルは Y のつもりで、歌子の代わりにとぐことにして、米櫃からお米を三合もつてきて、シャツシャツと慣れた手つきでお米をとぎながら、ふと、

「おねえちゃん、折田くんが好きなかもしれない。チヅルよりも、好きなのかな」と思った。

そのとたん、どうしようもない淋しさがどうつと風のように押しよせてきて、チヅルはわけもなく大声をあげたくなった。

「おねえちゃん、きらいだ。折田もきらいだ！」

⑦チヅルは歯をくいしばり、足を踏んばって、いつまでもいつまでも力をこめて、お米をとぎ続けた。

(氷室冴子『いもうと物語』より)

(注1)「清子」…歌子、チヅルの母。知人の農家に農作業の手伝いに行っている。

(注2)「茶の間」…住居の中で、家族が食事やだんらんなどをする部屋。

問1 〃〃〃線部の情景描写を手がかりにすると (A) にはどのような言葉があてはまりますか。次の中から選び、記号で答えなさい。

ア つまらない イ はずかしい ウ 悔しい エ こわい

問2 線部①「チヅルはあつけにとられてしまった」とありますが、それはなぜですか。その理由を説明した次の文の空らん部 1 〃 3 を、それぞれ指定の文字数で、本文中からぬき出して答えなさい。

による 3 (二字) のため。 1 (十八字) のに歌子が 2 (九字) こと

問3 X・Y にあてはまる語をそれぞれ次の中から選び、記号で答えなさい。

X ア 残念 イ 得意 ウ 不安 エ 当然
Y ア はげまし イ あてつけ ウ おわび エ おせっかい

問4 線部②「おずおずと」・⑥「気が抜けた」の本文中での意味として最も適当なものを選択し、記号で答えなさい。

②「おずおずと」 ⑥「気が抜けた」
ア もの静かに ア 油断した
イ ためらいながら イ つぶやいた
ウ ゆっくり確実に ウ 落ち着いた
エ 頭を下げながら エ 緊張がゆるんだ

問5 線部③「メモもなにも見ずに、歌子はダイヤルをまわして」から、どのようなことがわかりますか。二十字以上、二十五字以内で答えなさい。

問6 線部④「月に一度くらい電話をかけてきていたのは、この折田くんではないかという気がしてきた。」とありますが、それはなぜだと考えられますか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 友だちが歌子に電話をかけてくるのは「ゼータク」だと思ったから。
イ 歌子が折田くんのことを異性として好意を持っていると思ったから。
ウ 電話する歌子の様子から、折田くんと親しさをを感じ取ったから。
エ 歌子が折田くんのこと以外にはなにも考えられないようだったから。

問7 — 線部⑤ 「いいよ、もう。」とありますが、この時の「歌子」の心情として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 度をこしたいたずらをしたチヅルに、怒りよりも情けなさを感じている。

イ チヅルの言葉に心がこもっていないことを見ぬき、どうでもよくなっている。

ウ 母に言っても状況は変わらないことを知っており、あきらめている。

エ とにかく靴が見つかって折田くんに謝れたことで安心し、怒りがおさまっている。

問8 — 線部⑦ 「チヅルは歯をくいしばり、足を踏んばって、いつまでもいつまでも力をこめて、お米をとき続けた。」とありますが、この時の「チヅル」の心情を本文の言葉を使って三十五字以上、四十字以内で説明しなさい。